



のびのび いぎいぎ 生涯学習

生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

手作りの器で食を楽しむ「都留市陶芸連盟」

都留市陶芸連盟に加入し活動しているグループと、その活動状況を紹介します。

▼銀鈴会は、平成二年より活動を始めました。井倉の山本さん方を作陶の場として、六十歳以上の方十数人で、毎月一作品を目標に、楽しく話し合いながら作業し、各人の家庭で使うものを作ることにしています。

▼陶彩会は、平成十年より活動を開始して三年目になります。銀鈴会の人より、やや若い九名で毎月第四水曜日に井倉の山本さん方で作陶に励んでいます。市の文化祭にも出品しています。

▼井倉婦人学級は、平成三年度より毎年九月ごろに陶芸を学習し本年で十回目になります。十数人のメンバーで楽しく、作陶・釉がけ・鑑賞会をしています。

▼禾生第一小学校では、七年前ごろから五年生がセラミドという陶土を使い、父母と一緒に陶芸をする機会を作り、毎年学校の文化展に出品していましたが、平成九年度から銀鈴会が、平成十一年度から陶彩会が、その会に参加して子供達と一緒に陶芸を楽しむことになりました。子供と老人の交流の場として、大変有意義な集いとなりました。末ながく続けていきたい行事です。

問合せ

- 銀鈴会 重原 安雄 ☎(43) 1 4 9 7
- 陶彩会 小沢 一枝 ☎(45) 1 1 4 4
- 重原 安雄 ☎(43) 1 4 9 7
- 津田 幸恵 ☎(43) 8 3 8 0
- 志村 高光 ☎(43) 5 2 2 5
- 深沢千登世 ☎(43) 2 1 3 7

陶芸連盟のみなさん



菊花に魅せられて

私の菊作りのきっかけは、庭先にある菊を鉢上げして咲かせたところ「手をかければこんなにきれいに咲くものか」と思い、その菊の花に魅せられ菊作りを始めました。

当初は身近で菊作りをしている人も無く、手探りの中始めてはみたものの、菊苗もあまり手に入らなく、思うような菊作りができないまま数年が過ぎました。そのころ、菊苗を分けてくれる人があり、次第に菊の種類も増えていきました。しかし、苗作りで失敗したり、病害の消毒の仕方を間違えたり、また、その年の天候にも左右され、なかなか思うような花が咲かず一年一年が経験の積み重ねでした。

当時、菊作りをしていた知人が文化の日に菊を出品するようすすめてくれたので、初めて自分の作品を展示したものの、他の作品と比べると見劣りがしました。やはり、自己流では限界があると感じたので、基本から学ぼうと思いい、園芸指導協会の通信講座で一から始めたところ、菊作りに大切なことは、しっかりと腐葉土作りと苗作りでした。その甲斐があり、今では少しずつ納得のいく花を咲かせることができるようになりました。

菊の中でも、懸崖づくりは特に手がかかり、花が咲く前に来年の苗作りを始めます。冬の間は日当たりのよい場所で育て、春に苗の植え替えをし、真夏は、毎日朝夕の水やりは欠かせず、家を空けることはできません。夏の成長期には、芽摘みと形づくりに追われる毎日です。

また、台風もとても気がかりなものの一つです。しかし、秋の開花時期を迎え、きれいに咲き誇る花を見ると、そんな一年の苦労も忘れる思いです。

菊作りを始め、早や五十年。文化協会の菊花の皆さん、長者町家庭学級の皆さんと、楽しく菊作りをしています。菊作りに興味のある方、私達と一緒に始めてみませんか。協力しますので、連絡してください。

問合せ

- 森嶋 好男 ☎(43) 3 0 5 9

